

EcoDesign 2019
第 11 回 環境調和型設計とインバースマニュファクチャリング
に関する国際シンポジウム



開催概要

開催趣旨

地球規模の環境問題解決のためには、大量生産・大量廃棄型の社会システムから脱却し、安定した低炭素型・循環型社会を構築する必要がある。ある領域での一つの技術革新が問題の解決に大きく貢献するであろうという従来のボトムアップ的なアプローチでは、因果関係が複雑な地球環境問題への対応が困難になってきた。すなわち、俯瞰的視点より異分野の技術や知識を適切に融合することが必要となる。このような視点から本シンポジウムでは、目指すべき社会の設計図を描き、そこで必要となる技術や社会システムを明らかにした上で様々な技術や政策を融合して対応するアプローチをベースに議論を重ねてきた。

エコデザイン国際シンポジウムは、1999年にスタートして以来、隔年で国内各地において開催され、今や国内外で広く認知されるまでになった。2013年の第8回会議を韓国で、2017年の第10回会議を台湾で開催するなど、エコデザインのアジア各国への普及にも貢献している。

第11回となる今回のシンポジウムは、2019年11月25日～27日の日程でパシフィック横浜にて開催する(詳細はホームページ <http://ecodenet.com/ed2019/>)。これまでの同分野における活動でも、製品のライフサイクルを念頭においた設計、またはライフサイクル自体の設計は行われてきたが、製品が設計どおりのライフサイクルを過ごしているかは把握が困難であった。しかし近年ではインターネットやIoT(Internet of Things)の発達等により、消費者の行動や製品の使用段階でのデータ等、製品ライフサイクルに関するデータの取得・活用が容易になってきており、現実のデータを踏まえたライフサイクル設計の可能性について議論する時期だという認識に基づいている。本シンポジウムでは、基調講演やオーガナイズドセッションを企画するとともに、幅広いテーマで様々な企画セッションや一般講演、シンポジウム20周年に関わるイベントを予定している。

これらの企画を通じて、広く大学、企業の研究者ならびに公共団体関係者が集い、エコデザイン関連分野の研究成果を討論し情報を交換することは、エコデザイン推進のために大変意義深いものと考えている。

シンポジウムの概要

会期:2019年11月25日～11月27日

開催場所:パシフィコ横浜(神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-1)

主催:エコデザイン学会連合、産業技術総合研究所

事務局:東京大学大学院工学系研究科 精密工学専攻 木下研究室内 EcoDesign2019 事務局

協力:Electronics Goes Green、Care Electronics

名誉大会委員長:吉川 弘之(エコデザイン学会連合 会長)

大会委員長:金丸正剛(産業技術総合研究所)

大会副委員長:Nils F. Nissen (Fraunhofer IZM, Germany)、Bernd Kopacek (Austrian Society for Systems Engineering and Automation, Austria)

組織委員長:梅田 靖(東京大学)(主催団体エコデザイン学会連合幹事)

実行委員長:松本光崇(産業技術総合研究所)

副実行委員長:井上全人(明治大学)

プログラム委員長:木下裕介(東京大学)

スケジュール概要

Call for Papers 配布:2018年10月

論文募集締切:2019年4月

最終論文提出締切:2019年9月

EcoDesign 2019 開催:2019年11月25日～11月27日

プログラム概要(予定)

11月25日 オープニングセッション、基調講演、パラレルセッション(5室)、
Welcome Reception

11月26日 基調講演、パラレルセッション(5室)、ポスターセッション、Banquet

11月27日 基調講演、パラレルセッション(5室)、クロージングセッション

問い合わせ先

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院工学系研究科 精密工学専攻 木下研究室内

EcoDesign2019 事務局 高橋裕香里

電話&FAX (03)5841-6478

E-mail: ecodesign2019_secretariat@ecodenet.com